











さくになりました。軍法会議にかけられ、六カ月の懲役です。

◆戦争の本質◆

その星条旗をひきさくのですから、彼らが腹の底からの怒りと断固とした抗議を表明したことが、スシと伝わって列に加わりました。一九七六年から八五年の間に参加したデモを一部拳げてみま

一九七三年、ついに私は大学の門をくぐることができました。私が入学したウイリスコンシン大学は革新的な校風で評判の大学です。初めて参加した戦争反対の討論集会で、参加者の発言を聞いているうちにだんだんとベトナム戦争の隠された姿が見えてきました。政府がアメリカの民衆に公然とついたうそと、ベトナムへの武力干渉を正当化するきかないやり口が見えてきたので、この集会で受け取ったヒラには、アメリカの武力干渉について書かれた本のリストがっており、私はこれら本を読むみあざりました。読めば読むほど、私

はなにか行動を起こさなければならぬと思いました。

私は「反戦ベトナム帰還兵の会」という団体に入り、さまざまな反戦デモの隊列に加わりました。一九七六年から八五年の間に参加したデモを一部拳げてみま

ず、です。領ロルト・レガンが南アフリカ政府の熱心な支持者であったにもかかわらず、私はこれら本を読むみあざりました。読めば読むほど、私

◆覇権国家アメリカ◆

みなさん、アメリカは第二次世界大戦後、一体何回ぐら外国に対して、軍隊を派兵し内政干渉をしたと思われませんか？ ちょっと想像してみてください。——二百十五回です。それではそのうち、いざとなったら核兵器を使うつもりでいたのは何回ぐらいたと思われませんか？ ——三十三回です。これがアメリカの政策なのです。

アメリカが行ってきた武力干渉のほんの一例を挙げてみましょう。一九四五

◆あわのに◆

日本の人々が全国で手をつないで、平和憲法を守ろうとすれば、自民党も憲法改正をあきらめるでしょう。そうすれば世界の人々も日本での運動を見て、どんなに励まされるかしれません。そして希望を持って、自分の国の憲法も日本の平和憲法のように変えていこうと努力する

アメリカは第二次世界大戦後、一体何回ぐら外国に対して、軍隊を派兵し内政干渉をしたと思われませんか？ ちょっと想像してみてください。——二百十五回です。それではそのうち、いざとなったら核兵器を使うつもりでいたのは何回ぐらいたと思われませんか？ ——三十三回です。これがアメリカの政策なのです。

デモなどの市民運動の中で、私達は参加者同士の連帯を深めることができま

す。そして私達には社会を変えられる力があるのだ、という確信を持つことができるのです。今、アメリカでは教会や労働組合、地方議会をまきこんで、政府の外交政策を問い質す運動が高まり、それによって一般の市民の自覚も高まっています。私が育ってきた時代、ベトナム戦争

の思想統制など、もはや不可能です。軍隊のスカウトは、かつての私のように無邪気に軍人にあこがれる高校生を見つけては、もうできないでしよう。たとえベトナム規模の戦争を起こしたとしても、徴兵制を復活させたとしても、若者達に、祖国のために命を捧げよう、などと思わせることなど、もうできません。

でしよう。世界中に真の平和がもたらされることになりまし。日本の人々があきらめて自民党の憲法改悪を許してしまつたら、今よりもっと危険な世界になるでしょう。安保をなくそう！

日本の平和憲法を守ろう！日本の人にとっては当たり前で気づいていないかもしれませんが、憲法第九條は世界中で一番すばらしい条文です。日本は世界の中で平和のためのリーダーになれる国です。アメリカのイヌなんかでいるのは、もうやめにしましょう。普通の人々はアスメリアと教育によってうまくだまされています。ここに学校の先生や塾の先生がいたら、子ども達に教科書には書かれていない本当の歴史や社会情勢を教えてください。親は子どもに、職場では同僚に、子ども達も友達に、真実を話し、広めてください。皆さん、それぞれの場所で、世界の平和のためにともにかんばりましょう。

(一五七・一六三の写真はU.P.I提供)